

ヘルパーステーション

サービス提供責任者紹介

在宅生活をヘルパーと共にサポートさせていただいております。

現・ヘルパーステーションの紹介です。
今年の7月より、花谷紀光主任を含め
男性3名、女性1名の体制となりました。

今後とも皆様に満足していただけるサービスを提供していきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



左から
増田秋月、花谷紀光、増山百合子、加藤純男

居宅支援事業所・地域包括支援センター

暑い夏も終わり、ウォーキングに最適な季節になりました。

でも、転んでしまっては大変です。
普段から自宅でも手軽にできる運動をご紹介致します。



足の後ろ上げ

両足を少し開き
上体だけ45度ほど前に傾け
片方の足を
まっすぐに後ろに上げる
●支持する足は床に垂直にして
テーブルやイスなどに
つかまって行いましょう



その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望、苦情などありましたらお気軽に声をかけてください。
ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。
次号は1月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。
<http://misono-fukushikai.or.jp/>



たんぽぽ通信

平成25年10月発行 第24号

社会福祉法人みその福祉会・ケアタウン成増



敬老会「歌とピアノのコンサート」：玉川大学芸術学部教授
(左) 江口正之先生 (右) 小佐野圭先生

敬老の日を迎えるにあたり

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

今年も多くのご利用者と共に「敬老の日」を迎えることができたことをとても嬉しく思っております。明治・大正・昭和と激動の時代を乗り越えられ、自らの手で人生を切り開き、わたしたちの国をこのように立派な姿に発展していただいた高齢者の皆様に心より感謝申し上げます。

特別養護老人ホーム及びショートステイにおいて9月8日にささやかながら敬老会を開催いたしました。ちょうどその日に国際オリンピック委員会にて2020年夏季五輪の開催都市が東京に決定し、当施設の敬老会もご家族を含めて、とても明るい雰囲気の中で行われました。今年も板橋区より88歳（米寿）・95歳・101歳以上のご利用者にお祝いの品をいただき、当施設からは、ご利用者全員に「板橋のいっぴん」である年齢を重ねることをイメージしたバウムクーヘンをお渡しました。参考までに当施設利用者で101歳以上の方は4名で、最高齢の方は104歳の女性利用者となります。また敬老会に合わせ、玉川大学芸術学部の江口教授と小佐野教授にお越しいただき、歌とピアノ演奏を披露していただきました。とても素晴らしい雰囲気でこの敬老会を多くに盛り上げていただきました。

またデイサービスにおいては、3日間かけて敬老会を行い、期間中は職員によるダンスと手話を交えた合唱と手品などを披露し、お帰りにすべてのご利用者に紅白の饅頭をお持ち帰りいただきました。

特別養護老人ホーム・ショートステイ

ポテトサラダ作り

ケアタウン成増の敷地内に小さな畑があります。その畑では季節毎にお野菜を育てています。毎年恒例この時期に畑で採れたじゃがいもを使用したポテトサラダをご利用者様と一緒に作ります。長年家事をこなされていたご利用者様はこちらが声をお掛けしなくとも自然と手が動いている様子でした。出来上がったポテトサラダはお昼にご利用者の皆さんで頂きました。



秋のバスハイク

毎年秋のバスハイクは1泊旅行を企画しています。今年は10月9日・10日に初めての浅草旅行を予定しています。浅草では水上バスの乗船や仲見世散策を予定しており、ご利用者様・職員一同とても楽しみにしております。雨が降らないようお祈りしています。



デイサービスセンター

夏祭り

8/21(水)～8/23(金)、恒例の夏祭りを開催しました。盆踊り・輪投げ・金魚すくいなどその他、今年は綿あめ機を用意し、実際にご自身で作っていただきました。初めての経験でしたが、皆さんとても夢中に綿あめを作っていたのが印象的でした。



敬老会

9/18(水)、9/19(木)、9/21(土)の三日間、敬老会を開催いたしました。職員によるダンスと手話を交えた合唱、そして手品など、ささやかではありますが、日頃の感謝の気持ちを込めて披露させていただきました。

また、今年も賀寿者の方には写真入りの色紙と、参加者全員の方に紅白まんじゅうの記念品を贈呈させていただいております。

少しでも皆さんに喜んで頂けたら幸いです。



手品(ボランティア)

8/17(土)ボランティアの方に手品を披露していただきました。次から次へと繰り広げられるマジックを、皆さん食い入るように見ていらっしゃいました。

時折り挟むトークも軽快で、ついついマジックの世界に引き込まれていってしまいました。

